令和2年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	266		
会計	一般会計				
事務事業名	ＩＣＴ教育推進事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	学校教育課	開始	H29	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
	分野別計画			
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	小中学校
	意図	情報通信技術活用教育（ICT教育）を推進するための環境を整備し、飯田市固有の教育課題の解決、分かりやすい授業の実践（授業改善）及び情報活用能力の育成を図ります。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)
★印はISO配慮事項

新学習指導要領では、「情報活用能力」が「言語能力」「問題発見・解決能力」とともに、すべての学習の基礎となる資質・能力に位置づけられました。情報活用能力を育むためには、ICT機器等情報通信技術活用教育を推進するための物的・人的な環境整備が必要となります。

モデル校での実証研究の成果や課題等を踏まえつつ、中期計画に基づく計画的な整備を進めていくとともに、教員の指導力向上に向けた取組の充実、機器・デジタル教材のトラブルに迅速に対応できる支援体制が求められます。

2年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・ICTモデル3中学校区における、ICT教育の実証研究を更に進めます。 ・モデル校以外の学校におけるICTの環境整備及びICT教育を推進します。（学校間交流用遠隔会議システムを竜東中学校区へ導入。校内設置中間教室へ学習者用端末の導入。電子黒板を小中学校全普通教室へ、学習者用端末を全学校へ一部導入。） ・教員の指導力向上に通ずるICT活用研修会、教職員による先進校視察、特別支援学級、不登校児童・生徒への学力保証については、専門家を招いた研修会を実施します。 ・配置される機器やデジタル教材の増加に伴って想定されるトラブルの多様化に対応できるよう、支援体制（ヘルプデスク機能）の強化を図ります。	教育指導・研修（報償費・旅費）	2,384
	回線使用料	6,711
	設備機器保守点検等委託料	12,215
	事務用機器等使用料	178,914
	端末修繕費	800
	全国ICT教育首長会負担金	10
	下伊那教育会情報視聴覚委員会負担金	2,065
	消耗品・備品購入費	10,029
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
遠隔会議システム整備率	%	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9		42.9	
特別支援学級TB整備率	%	21.0	21.0	36.4	36.4	36.4		36.4	
LD等通級指導教室TB整備率	%	22.2	22.2	22.2	22.2	77.8		100	
中間教室PC整備率	%			7.0		7.0		100	
１日１回、PC一人一台を使った学習実施校数	校	7	7	7	7			14	

2年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	213,128
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	0
その他	34,700
一般財源	178,428

特定財源内訳及び補足事項

（そ）ふるさと寄附金　34,700千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	2	2	13	1	158,657 / 0	情報通信技術活用教育推進事業費
2	1	10	2	2	13	2	1,366 / 0	視聴覚教育費
3	1	10	3	2	13	1	52,406 / 0	情報通信技術活用教育推進事業費
4	1	10	3	2	13	2	699 / 0	視聴覚教育費
5								
6								
7								